

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ここふる		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 7日		～ 令和8年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 20日		～ 令和8年 1月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内が広いので、活動を分けて行うことができる。	静と動の活動で場所を分けて安全面に配慮できる。	広いための死角を意識し、安全な環境を徹底する。
2	情報を取り入れたりもっといい支援をしていきたいという気持ちがある。	昼礼での状況報告や、紙面での情報共有を行っている。	それだけでは情報が足りず、職員の不安を生むことにつながるため、共有できる場を増やしていきたい。
3	地域の子どもたちと、居場所やイベント時での交流ができる。	一部の児童が参加をしているため、広げた活動で心がけていきたいと感じている。	継続した取り組みを行い、交流の場を多く持てるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内に死角が生じる場合がある。	職員の立ち位置が偏ることがあるため	声をかけ、職員が手薄な際にうまく配置できるようにしたり、職員の役割を明確にすることで意識を持って支援できるようにする。
2	非常勤職員の出勤時間等が異なるため、情報共有等の会議を計画することが難しいと感じる。	昼礼に加えて紙面でも行っているが、わかりにくい点を質問していただく機会が少ないためか、不安を感じている職員がいる。	わからないことを気軽に質問できる環境を整えます。
3	公共的な施設内のため、周りからの視線から利用児を守ることや災害時等の避難動線等に不安を感じる場合がある。	周りからの視線への配慮や災害時の避難等、事業所としてできる表示を心がけてはいるが、どこまで守られているかなどは、周りの施設との共有が大切だと感じる。	施設全体でのマニュアル等を整備し、より安心な環境を整えていく。